



平成26年採用

小塚 将未

(東京空港事務所総務部総務課勤務)

公務員を目指している全国の皆さん、こんにちは！

私は平成26年4月に採用となり、東京空港事務所総務課で勤務しています。皆さんの採用活動に少しでもお役に立てるよう、航空局の魅力や普段の仕事内容などを書かせていただきます。

まずは皆さん、空港に来たことはありますか？空港って来るだけでなぜかウキウキ♪した気分になりますよね。飛行機は車や電車と違って、毎日乗るものでも見るものでもないで、“非日常”的に感じると思います。そんな“非日常”の中で仕事できるのが航空局の魅力です。

私が航空局を志望した理由は、その“非日常”に感じる飛行機の近くや空港で働きたいと思ったからです。飛行機が好きで、学生時代は羽田空港にも遊びにきたりしていました。今ではその羽田空港が職場だと思うと不思議な感じがします。

また、航空局は“Plan Do See”といって、本省（霞ヶ関）の企画側と事務所（現場）の実施・実行側の双方で業務をおこなえます。様々な勤務地で仕事も（プライベートも）経験ができて、本省でも働けるのは航空局の大きな魅力だと思います！

さて、普段、総務課の中では“庶務”という仕事を担当しています。皆さんは“庶務”という仕事にどのようなイメージがありますか？私は、採用されて担当が庶務と聞いたときに「雑用！？」と心の中で思っていました。皆さんも同じようなイメージではないでしょうか？

しかし、実際に1年以上勤務して雑用と感じたことはありません。業務内容を簡単に説明すると、どんなことでも幅広く対応・解決することが仕事です。覚えることがたくさんありますので、とても大変だとは感じます。でも、なにか人の役に立ったときに「ありがと

う」と感謝の言葉をいただくことで『また頑張ろう!』と思えます!非常にやりがいのある仕事で楽しい毎日です。

また、勤務地が東京国際(羽田)空港ということもあり、VIP 対応(天皇陛下、内閣総理大臣など)や視察対応といった仕事もあります。これらは主務ではありませんが、他の空港や他の部署ではあまり経験できないことで、羽田の庶務ならではの貴重な体験をさせてもらっています。

最後になりますが、これは私の採用活動時代から感じていることです。(※主観です)

採用活動時にお世話になった方々がものすごく仕事にも仕事以外にも“熱い”方でした。採用されて職場にいくと、そこにも“熱い”方々がたくさんいました。航空局には“熱い”人がたくさんいます。最初はやけどしそうになりましたが、不思議と慣れます。「“熱い”感じも悪くないなあ〜。」ときっと思います。というか、思わせます!

やっぱり航空局は楽しそうなところですよ?皆さんに出会えることを楽しみにしています。そして一緒に“熱く”航空行政を盛り上げましょう!

